

令和4年度北栄町老人クラブ連合会定期総会

北栄町老人クラブ連合会定期総会の開催、おめでとうございます。

日頃は、田中会長さんをはじめ、会員の皆さまには、北栄町の高齢者福祉の推進にご尽力いただいていること、感謝申し上げます。

さて、コロナ禍の継続で、町の行事もそうですが、老ク連で計画をされていた事業も中止や縮小を余儀なくされています。しかしながら、ようやく、ここに来て、マスク着用の個人判断やクラスター認定もやめるという動きもあり、5月の連休明けには5類、すなわち、季節性のインフルエンザと同じ扱いになるということですので、社会活動も活発に行われるようになると思います。皆様の活動も、以前のように活動ができるようになると思います。

少し数字で町の現状について、お話をさせていただきます。例えば、高齢化率です。本町のそれは、36.2%で県内では市を除けば、日吉津村、湯梨浜町に次いで3番目の低さとなっています。ちなみに1番高いところは、日南町で55%を超えています。介護保険における要介護認定率は、本町は14.5%で、これは県内で1番目の低さです。ちなみに、一番高いところは、日南町で24.3%です。

これらのことを考えますと、北栄町は県内では若く、元気な高齢者が多いまちといえます。これは、日頃のみなさんの生活やこの老人クラブの活動を通して、普段から、健康に留意されたり、介護予防をされたり、世代問わずいろいろな方と交流されたり、しているからだと思います。

ただ、クラブ数も設立当初の半数となっているようで、会員数も減少し、組織運営も難しくなっているようです。町としましても、皆様の活動は重要と位置付けております。令和5年度の関係予算も承認されています。今後も運営等の支援を継続してまいります。離脱しないような取り組みも検討が必要と思います。

老人クラブに参加することで、仲間が増え、行動範囲も広がり、健康にもつながってまいります。これまで培ってこられた知識や経験を活かす場、またコミュニティの場として、充実した老人クラブ活動が展開されますことを祈念し、お祝いのあいさついたします。

令和5年3月29日

北栄町長 手嶋俊樹